

様式1【申し合わせ事項】 【委員会、全協：共通様式】

令和7年7月13日

教育民生常任委員会

委員長 片松雅弘 様

教育民生常任委員会

委員 川瀬孝代

研修報告書

研修期間	令和7年7月10日（木）
研修（視察）先	東員町議会
目的（テーマ等）	がん検診の現状と今後について
資料添付の有無	有・○無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1【申し合わせ事項】：【委員会、全協：共通様式】

[氏名：川瀬孝代]

]

概要・内容

がん検診の受診方法として、市町村・職場での定期健診・人間ドックがあります。市町村が実施するがん検診では、健康増進法に基づき国の指針に沿った検診を実施している。(努力義務) がん検診の目的は、早期発見・早期治療によるがんの死亡率減少東員町でのがん検診については、国の指針による対策型検診として推奨され、科学的根拠に基づく検診を実施している。町独自では、前立腺がん検診も実施しているなど現状と受診率について担当課より説明を受けました

所感

早期発見や予防への検診体制は重要な取り組みです。

検診への啓発を実施しているが受診率の向上は難しいとのことでした。

がん検診の費用も経済的負担軽減をしていますので、受診しやすくなっています。

がんに罹患すると、医療費や労働損失につながります。

また、がん患者の療養生活では、多様化が進んでいるといわれています。

予防や防げるがんへの対策でリスク要因などへの研究、取り組みが国立がん研究センターなどで行われています。

研究では、命を救う対策とともに経済的負担軽減につながるように期待をされています。

東員町でのがん検診の中に、予防可能ながんの種類として、ピロリ菌感染による胃がん、能動喫煙による肺がん、HPV 感染の子宮頸がんがあります。

がん検診での無料クーポン配布やピロリ菌の除菌治療は保険適応となりました。

健康への啓発とともに、がん予防には検診の充実が最も大事であります、がんに罹患することへの治療や経済的負担などの啓発も必要のように思います。

担当課として、がん検診の重要さを浸透させて、推進に取り組んでいただきたいと思います。